

東区 東山の下地区コミュニティ協議会

活動名： “避難所の運営” における「避難所運営委員会」の立ち上げ準備

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

災害時への対応として、これまで、各自治・町内会ごとの避難マップづくり、電柱 140 本への“海拔表示板”の取り付け、液状化セミナーの開催などに取り組んできたが、実際の災害時には、避難所への誘導および避難所の運営に関する体制作りが重要である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

新潟市の【避難所運営マニュアル】にある「避難所運営委員会」の設立を目指し、当地区にある4つの避難所ごとにその組織作りの準備を進める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ① 災害発生時において、住民を安全に避難所へ誘導するための“誘導看板”を自治・町内会の協力を得て製作し、当地区内の要所85箇所に設置した。
- ② 東区役所主催の「避難所運営体制検討会」にコミ協役員全員が参加し、“災害時における避難所の開設”の研修を受けた。併せて当地区の避難所4か所を分担して“避難住民受け入れの部屋割り”について検討し、後日避難所施設を実地検証の上、再検討して部屋割り図面を東区役所に提出した。
- ③ 避難所の開設とその運営に関する“模擬体験セミナー”を、防災士を講師に迎えコミ協役員対象と自治・町内会の役員を対象に2回開催した。
- ④ 「避難所運営委員会」設立に向け、各自治・町内会に対し、2名程度の運営委員の選出をお願いした。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

NPO法人日本防災士会新潟県支部の防災士の支援・協力を受け進めた。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ① 避難場所への“誘導看板”の設置にした。それにより、当地域の住民だけでなく当地域内の通行者に対しても効果を発揮することを見込んでいる。
- ② “模擬体験セミナー”を通じて、避難者は多種多様であり平常時からその対策について検討を進めることの必要性を参加者に理解していただき、運営委員選出にあたって協力を得ることができた

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ① 避難所への誘導看板については、各自治・町内会に対してその製作への協力と設置場所の選定及び私有地への看板設置に対する理解を得るのに協力をお願いした。
- ② “模擬体験セミナー”において、未体験の模擬テーマ項目の設定や参加者に分担して作業を進めるため避難所4箇所へ割り振ることを理解してもらうことに苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

各自治・町内会より55名の避難所運営委員の選出（コミ協役員を含めると総勢77名）を得たので、27年度は4か所の避難所別に「避難所運営委員会」を立ち上げる。

1. 避難所への”誘導看板”設置



2. 避難所運営の模擬体験セミナー

<コミ協役員対象>



<自治・町内会役員対象>



東区 新潟市木戸地域コミュニティ協議会

活動名：地域安全マップづくり事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・子ども達が犯罪に巻き込まれる事件が度々報道されるなか、平成20年に区役所主催の本事業に関する研修会があった。
- ・自分達の地域において子どもが巻き込まれるような犯罪が発生しないようにしようとのことで行動を開始した。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・より多くの子ども達が犯罪の未然防止能力をつけること。
- ・地域安全マップづくりに参加する子どもたちを指導できる十分なスタッフを育成すること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・PTA、学校、地域コーディネーターなどと協働で参加児童の募集にあたった。
平成20年から事業を継続しているが、その有効性がPTAにも理解を受け平成25年度から学年行事として行っている。（木戸小学校：5年生、竹尾小学校：4年生）
- ・指導者となる保護者に対しては事前研修を、また、参加者全員には当日事前学習を実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

- ・PTA、学校、地域教育コーディネーター

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・事業終了後毎回、児童及び保護者の方からアンケートをとっているが、いずれも本事業によって防犯に対する新しい見方・知識が得られたという意見が寄せられている。
- ・PTA・学校からも「地域安全マップづくり」の有効性について評価が得られ、平成25年度から学年行事として行うことになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

「地域安全マップづくり」を指導するスタッフは、当初、考案者である小宮先生の研修会を受講した自治会長や地域教育コーディネーターなどを主体としていたが、事業の継続性と底辺を拡げるため、その都度参加する保護者に対して、夜間に事前講習を行って指導者となってもらっている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・現在の体制をもって今後も継承して行っていく。

活動状況写真



東区 大形地区コミュニティ協議会

活動名：大形地区総合消防防災訓練

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

何時発生するかわからない災害に対する準備ができていない。地域一体となった、災害への訓練等が必要と考えた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

消防団、地域防災会、コミ協など地域全体での防火防災訓練を計画、実施することとした。
(避難所までの避難誘導訓練、消火活動、炊き出し、応急担架作成、AEDなどの取扱い技能取得や災害時使用機材の習得訓練など)

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

佐渡沖を震源とする大地震が発生し、道路、電話等各種公共施設に甚大な被害がでており、倒壊した家屋から火災が多発するとともに負傷者が続出し、さらに多発した火災は延焼拡大の恐れがあり、住民の避難が必要となった状況を仮定して、避難所に集合し上記訓練などを実施した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

大形小学校、大形中学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

訓練を実施することにより、災害時の避難や簡易担架の作成および負傷者の運搬、初期消火、アルファ米による炊き出し、AEDの操作などを実践することができた。
発電機など災害時に必要な機材を展示し、設置の仕方、取扱い方法などを習得した。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地域消防団との合同訓練を実施し、消火活動やAEDなどの操作を参加者に体験してもらい、また消防ポンプによる放水作業も見学することができた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

訓練参加団体が固定化されている。地域全体での訓練であるから、みんなで声をかけあって全自治会からの参加者で開催できるようにするなど検討が必要と思われる。



東区 中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災対策事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

東日本大震災をきっかけに、地域住民の間でも危機感が高まり、防災に対する意識をより具体化する必要に迫られたため。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

防災対策先進地への研修にもとづき、防災対策活動を定期的・継続的に実施していく。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 先進地の視察研修
2. 防災に関するワークショップの実施
3. コミ協全体の自主防災組織の設立

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

中野山小学校、消防団

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

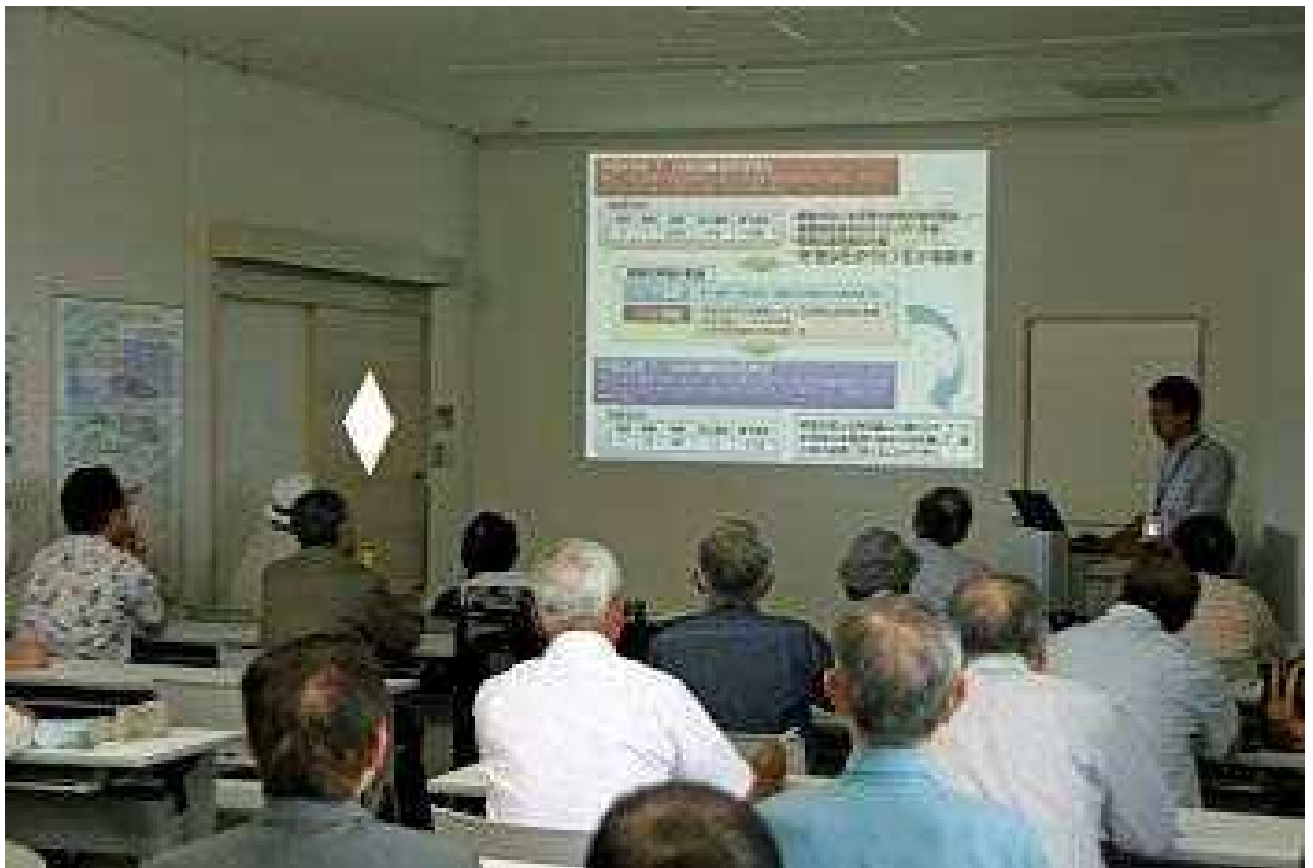
1. 自主防災組織の仕組みづくりができた。
2. 住民の防災意識を徐々に高めることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 全自治会の参加を促し、地域一体となるように図った。
2. 大勢の方々の意見を、自主防災組織の仕組みづくりの際に集約するのに苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

コミ協で検討委員会をつくり、防災計画の改善に努める。



東区 南中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災防火部会「防災研修会」名取市閑上地区視察

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

災害において、自分の命の大切さを学び、地域の人々の命の大切さを感じてもらいたかった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

東日本大震災で、特に人的被害および建物被害の大きかった被災地を、目で見てそして被災者の話を聞く。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

インターネットで情報を集め、現地の被害者団体と、電話・FAXでの連絡を取り、視察の下見のため現地に行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

防災活動に対して、参加者の意識が変わり、知識の蓄積と浸透ができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・下見に行き、現地スタッフと視察の目的の打ち合わせをした。
- ・参加者に研修会の「目的」を伝えて理解していただいた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・防災活動の一環として、今後も防災研修会で現地視察を続けていく。
- ・地域の避難訓練・防災訓練に生かしていきたい。



平成 26 年 11 月 5 日 南中野山小学校区コミュニティ協議会
防災防火部会研修会「名取市関上地区視察」
津波被災廃校 関上中学校前にて



認定NPOの法人「地」のステージ
「ゆりあげの記録」案内人「丹野裕子」さん

東区 桃山校区コミュニティ協議会

活動名：おはよう朝ごはん料理教室

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

子どもたちの食生活の乱れと朝食をきちんと食べない子の増加が近年問題視されていること。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

子どもたちが簡単に作れる料理教室の実施。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

食生活を通して「早寝、早起き朝ごはん」の習慣化を図るため誰でも簡単に作れる料理教室を開催した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

民生委員・PTA・ボラティア団体

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

沢山の子どもたちや地域の方が気軽に参加できるような内容にすることで、子どもたち同士の交流の輪が広がった。

また、食生活の見直しにつながった

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

子供目線から作りやすさ・食べやすさを考えた献立作成

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

継続していく



東区 下山地区コミュニティ協議会

活動名：新潟空港を花絵で飾ろう

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域住民などがお互いに協力し合う関係構築が望まれるとともに、東区の「花と緑にあふれた区づくり」の実現に向け、地域における具体的な取り組みが必要となっていた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

花と地域への愛着を深め、自然への親しみ、世代間交流、おもてなしの心を育てる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

下山地区の小・中学生、地域住民などが多く参加し、付近のチューリップ畑での花摘み、新潟空港における花絵の制作・展示をお互いに協力しながら行った。

これをきっかけとして、さらに地域関係者が互いに協力し合う関係を作っていきたい。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・身近な自然を感じ、地域に対する愛着が深まった。
- ・おもてなしの心が深まった。
- ・世代間交流が深まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地元のチューリップ畑から花を摘み、花絵を作成することにより、参加者に地域への愛着を深めてもらえるようにした。

球根育成のため廃棄される花を摘み取り活用することにより、有効利用できるようにした。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

新潟空港のみならず、地域の緑化活動を通年で取り組む体制を検討していきたい。

活動状況写真



東区 江南小学校区コミュニティ協議会

活動名：江南ふれあいまつり

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

学校区中心部の水田が区画組合整理事業により住宅地として誕生した地域であり、6割近くがマンション、アパートなどであり近隣のつながりが希薄なことから、一体感のある地域を目指したいと考えた。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

平成26年4月、旧新潟市園芸センター管理棟が「石山南まちづくりセンター」として開設されたことに伴い、その施設を有効に活用し、「幼児から高齢者までの世代交流を図る」ことを目標にした。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

平成26年4月、旧新潟市園芸センター管理棟が「石山南まちづくりセンター」として開設されたことに伴い、その施設を有効に活用し、「幼児から高齢者までの世代交流を図る」ことを目標にした。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

「石山南まちづくりセンター」との共催事業として、資金と専門部会の協力を得た。

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

初めての企画であり、しかも当日の朝は雨であったが、幼児と小学生で約100人、保護者と高齢者で約100人、出演者とスタッフで約50人の参加があり、「楽しかった」「また来年も実施してほしい」の声を聞くことができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加者から喜んでもらえる企画を考え、「まつり」としてはじめに太鼓演奏で盛り上げた。また、小学生による日本舞踊などを1時間以内にして、その後「餅つき体験」とみんなで餅を食べながらの交流をメインとした。そのほか、射的とサッカーゲーム、高齢者にはビンゴゲームで楽しんでいただいた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

当コミ協は「紙ヒコーキ選手権」と「江南ふれあいまつり」を世代交流事業として毎年開催して、少しでも地域住民の絆を深める交流の場にしていきたい。



東区 東中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：「ふれあいスクール」の立ち上げ

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 少子化と生活環境の変化に伴い、子どもたちの遊び場や交流がなくなってきた。
2. 健全で心も身体もバランスの良い子どもたちを育成する場や機会が失われてきている。
3. 共働きの家庭が増えてきている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. コミ協役員、教育文化部、PTA役員、教育コーディネータ、学習ボランティア、学校、教育委員会と共に「ふれあいスクール」の立ち上げについて検討と協力を願った。
2. コミ協役員会に提案し活動の具体化を進めた。
3. 「学校活動部」の新規設立と「ふれあいスクール」開校日を平成26年9月2日に設定した。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 組織づくり（部長・副部長・部員・運営ボランティア・事務担当・運営委員長）
2. 運営ボランティア（地域の方々、PTA保護者）の募集
3. 入校児童の募集、決まりの確立、学校使用場所の確認など

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

- ・東中野山小学校
- ・教育委員会

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 繰り返し会議を行ったことにより、学校ーコミ協ーPTAー地域ボランティアとのきずなが深まった。
2. 子どもたちとボランティアとのきずなができた。
元気に学習・遊び（体育館）・物づくりなどをしている子どもたちから喜びをもらった。
（近所で子どもたちと会うと挨拶をしてくれる、親と一緒にいるときはなおさらうれしくなるなど。）

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 開校後の2か月は、毎回終了後にコミ協、ボランティア、教育委員会、学校との反省会が当たり前のように実施され改善を繰り返した（教委も2か月に1回は出席されていた）
2. 1～3年生の子どもたちが多く予想以上に子どもたちの危険度が高い（軽傷が多いが、安全最優先で実施した。）
3. 子どもたちはグループでの遊び方を知らない（夢中になって遊ぶ）ため、ボランティアの出勤回数を多くした。
※児童の参加数が多く子どもたち、父兄からも喜んでもらっており、やりがいがあります。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

1. 市小研の日は、時間が長いので休憩時間を必ず取る。（子どもの体力に合わせて）
夏場の暑い日は、特に休憩時間を多くする。（安全最優先）
2. 何か多数で行うイベントを何回か考え実行したい。
3. PTA（保護者）ボランティアを増やしたい。
4. 高学年の参加が少ない。もっと異学年交流ができたらと思う。
5. もっと多数の方にボランティアに参加してもらい、子どもたちより元気をもらってほしい。

